

ユニフォーム製作時の注意事項

基本事項

ユニフォーム着用が必要な監督・コーチ・選手は、ユニフォーム・帽子・ストッキングが同色・同型・同意匠、スパイクが同色・同意匠、アンダーシャツが同色であること。

ユニフォームの背中には、背番号、名前以外の物を付けてはならない。

背番号は、0番から30番までを使用し、このうち監督が30番、主将が10番とする。

ユニフォームのストレートパンツはスパイクが引っかかる等の理由で使用が禁止されている。すでに着用している場合は、裾をゴム等で絞ること。

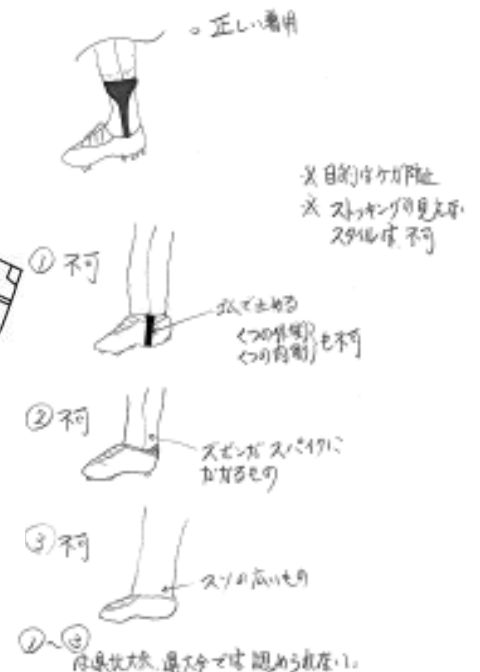
胸のチーム名は日本字、ローマ字どちらでもよい。胸にマークを付けてもよい。

ニックネームは禁止。
付ける場合は苗字を
ローマ字で入れる

6インチ(15.2cm)以上
の大きさとする。

ストレートパン
ツは禁止。

ボールを連想させる
模様は不可。文字
はSAITAMA又は
埼玉を入れる。



ユニフォームには15.2cm以上、21.0cm以内のの大きさの背番号をつけなければならない。(幅16cm以内、太さ4cm以内とする)

ユニフォームには、野球用ボールをかたどったり、連想させるような模様をつけてはならない。

ガラスのボタンやピカピカした金属を、ユニフォームにつけることはできない。

アンダーシャツの外から見える部分は、チームのプレイヤー全員が同じ色でなければならない。

袖がボロボロになったり、裂けたりしたユニフォームおよびアンダーシャツを着てはならない。

ユニフォームの背中に選手名をつけてもよい。但し、背番号の上にローマ字で姓のみとする。付ける場合はチーム全員が付けること。

袖の長さは両袖同一で、左袖に都道府県名(SAITAMA又は埼玉)を必ずつけること。左袖には他のものをつけてはならない。なお、右袖には社章、商標、クラブのマスコット等はつけても差し支えない。

深谷市野球連盟